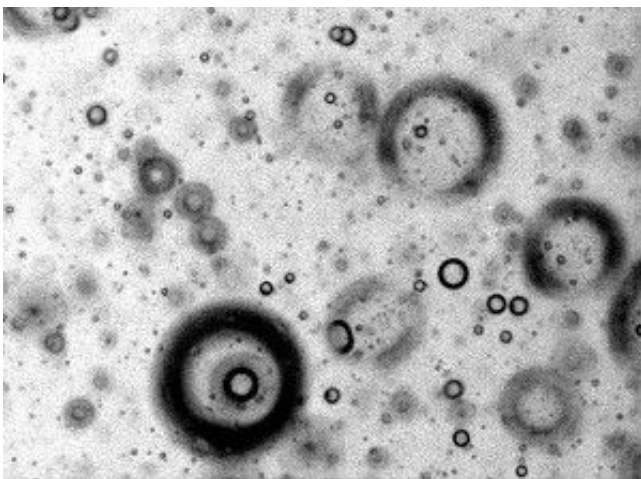
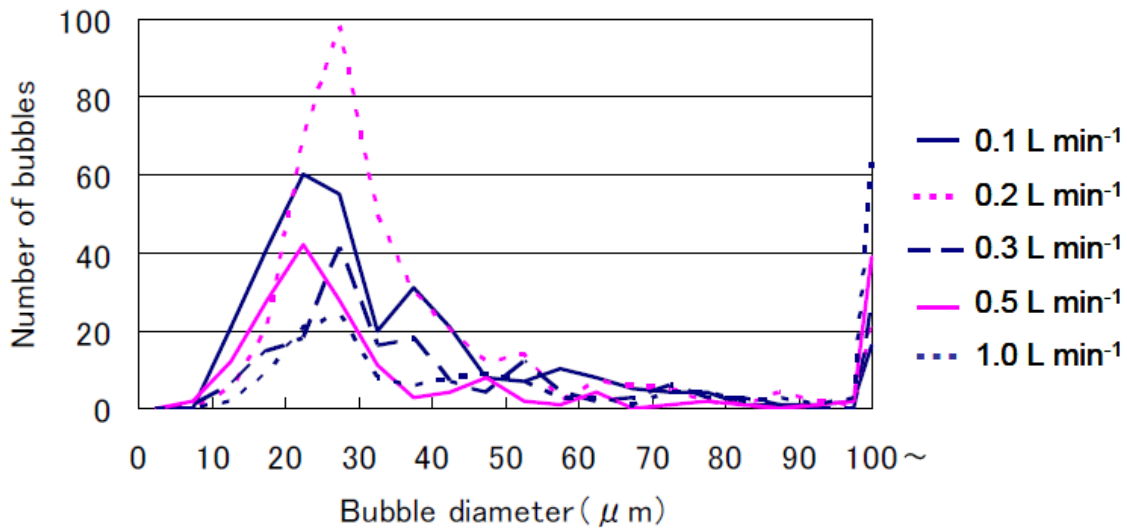


ワンダフリーの気泡径分布

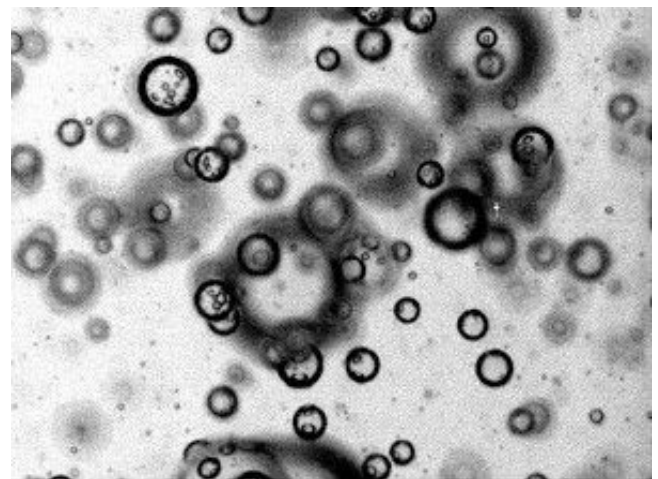
東京海洋大学の石丸研・賞雅研の川上氏が、ワンダフリーを使い実験した空気流量の変化に対する気泡径分布データから、ワンダフリーのマイクロバブル発生サイズを検証した。

空気流量が $0.1 \sim 1.0 \text{ L min}^{-1}$ の範囲においては、いずれもマイクロバブルが発生しており、特に $0.1 \sim 0.2 \text{ L min}^{-1}$ の空気流量のとき、気泡径 $20 \sim 30 \mu\text{m}$ のより小さなマイクロバブルを大量に発生していることがわかる。

各空気流量における気泡径分布



気泡画像 空気流量 0.1 L min^{-1}



気泡画像 空気流量 1.0 L min^{-1}

■データ提供

東京海洋大学海洋科学技術研究科 石丸研・賞雅研

平成19年度修士研究

「東京海洋大学品川キャンパス係船場の環境特性と貧酸素状態改善の試み（川上啓介）」